

研究機関：広島大学

研究課題名	肝臓移植後肝癌再発高危険群の全国実態調査
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	2022年2月21日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日
対象者	2010年1月～2018年12月の間に、広島大学病院移植外科および共同研究機関で肝細胞癌に対する肝臓移植術を受けられた患者さん。
意義・目的	肝細胞癌合併肝臓移植の保険適応が「ミラノ基準内ないし5-5-500基準内」に拡大されましたが、再発危険因子についてはまだ解明されていません。今回、肝細胞癌肝臓移植の全国調査を行うことで再発高危険群が同定可能となり、有効な術後補助療法やサーベイランスにつながるため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は術前情報(年齢、性別、血液検査、既往症、血液型適合性、ドナー特異抗体有無など)、ドナー情報(年齢、性別など)、手術情報(グラフト種類、出血量、輸血量、手術時間、グラフト重量体重比など)、術前肝細胞癌所見(画像所見、腫瘍マーカーなど)、病理所見、術

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5222

広島大学病院 未来医療センター 助教 大平 真裕